

外国語（英語）

1 これからの外国語科教育について

- 「聞くこと」や「読むこと」を通じて得た知識等について、自らの体験や考えなどと結び付けながら活用し、「話すこと」や「書くこと」を通じて発信することが可能となるよう、中学校・高等学校を通じて、4技能を総合的に育成する指導を充実するよう改善を図る。
- 「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の4技能の総合的な指導を通して、これらの4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力を育成するとともに、その基礎となる文法をコミュニケーションを支えるものとしてとらえ、文法指導を言語活動と一体的に行うよう改善を図る。

2 思考力・判断力・表現力等の育成のための外国語科授業について

POINT		
<p style="text-align: center; background-color: #cccccc;">外国語科教育の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーションの中で基本的な語彙や文構造を活用すること。 ○ 内容的にまとまりのある一貫した文章を書くこと。 	<p style="text-align: center; background-color: #cccccc;">言語活動の充実</p> <p>ルールとしての言葉の仕組みの理解と、ルールに基づく創造的な言語運用について、両者を関連付けた指導を充実することをめざすこと。</p>	<p style="text-align: center; background-color: #cccccc;">連携の重視</p> <p>小学校段階での外国語活動（仮称）を通じて、音声面を中心としたコミュニケーションに対する積極的な態度等の一定の素地が育成されることを踏まえ、身近な事柄についてコミュニケーションを図ることができるようにする。</p>
<p style="background-color: #cccccc;">授業展開例(高等学校)</p>		
<p style="writing-mode: vertical-rl;">導 入</p>	<p style="text-align: center; background-color: #cccccc;">1 課題の設定</p> <p>授業のねらいを明確にし、言語の使用場面や言語の働きを考慮して、ねらいを達成するための適切な課題やテーマを設定する。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl;">学 習 活 動</p>	<p style="text-align: center; background-color: #cccccc;">2 指導</p> <p>言語材料についての基礎的・基本的な知識など既習事項を基に、本時の課題に迫るための活動をさせるため、まとまりのある文章を読ませ、大切な情報や要点を整理させる。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl;">学 習 活 動</p>	<p style="text-align: center; background-color: #cccccc;">3 活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読んだ文章に基づいて、それに対する自分なりの考えや意見などを明確にさせ、整理させる。 ○ 自分の考えや意見とその理由を分かりやすく伝えるために、ふさわしい表現を選択できるように取り組ませる。 	
<p style="writing-mode: vertical-rl;">学 習 活 動</p>	<p style="text-align: center; background-color: #cccccc;">4 発表・交流</p> <p>発表・交流をする。お互いの発表を聞くことを通して、自分の考えを深めたり違いに気付いたりするとともに、相手に分かりやすく伝えるためにはどのような点に注意して発表することが大切かを考えさせ、コミュニケーションの手段として英語を使用する場を設定する。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl;">ま と め ・ 評 価</p>	<p style="text-align: center; background-color: #cccccc;">5 評価</p> <p>発表に対しての相互評価や教師からの評価を行い、良かった点と改善点を確認させる。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl;">ま と め ・ 評 価</p>	<p style="text-align: center; background-color: #cccccc;">6 振り返り</p> <p>課題についての自己評価をさせる。</p>	

【中学校 第2学年】

本時の目標 — 将来なりたい職業について、自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書くことができる。

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
<p>1 前時の振り返り ○前時の学習内容を確認する。</p> <p>2 課題の設定 ①「将来の夢」のモデル文を読んで、</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例)なりたい職業 理由1 理由2 など</p> </div> <p>②内容や文章構成についてわかったこと、気づいたことを交流する。</p> <p>3 本時の学習内容 ○「今日のめあて」を知る。</p>	<p>・本時は全単元計画6時間の中の第4時間目で、これまでに、本文(「将来の夢」について)の内容や不定詞の用法・文構造等、基礎的・基本的な内容を学習している。</p> <p>・なりたい職業について述べている部分、理由を表す部分に線を引かせるなどして的確に読み取らせる。</p> <p>・テーマに沿って、適切な語(句)や表現を用いて内容的にまとまりのある一貫した文章になっているかを考えさせる。</p> <p>・理由の述べ方、文の順序、つながりなどに注目させ、文章全体の構成について考えさせる。</p>	<p>前時までに、不定詞の用法・文構造等、基礎的・基本的な内容を教える。</p> <p style="text-align: right;">教</p>
	<p>将来なりたい職業について、自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書くことができる。</p>	
<p>4 「将来なりたい職業」についてグループ内で英語で意見交流</p> <p>5 「将来なりたい職業」について文章の作成</p> <p>○将来なりたい職業とその理由について自分の考えを明確にし整理する。</p> <p>○書きたい内容を整理し、どのような順序や構成で書くことが相手に分かりやすいかを考える。</p> <p>○文法の知識を活用し、辞書を使って新しい表現を探すなどして適切な表現を選択して英文を書く。</p>	<p>・意見交流する中で、自分の考えを明らかにさせるようにする。</p> <p>・ポイントとなる文型を黒板に書いて示したり、表現できない語(句)は教え合うなどして、英語で表現出来る内容を増やせるように支援する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>POINT</p> <p>・なりたい職業、理由、何をしたいかなど、関連する語(句)をマッピングするなどして整理させる。</p> <p>・理由が適切に述べられているかを考えさせる。</p> <p>・どのような順序で書くことが読み手に分かりやすいかを考えて文章を構成させる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) like to read books writer send my messages make a happy world</p> </div> <p>(例) I want to be a ~.</p>	<p>記憶にたよるのでなく、生徒が自分で考えて表現する状況を取り入れ、自分の考えや意見をもたせ、自分自身で考えながら英文を作成させるようにする。</p> <p style="text-align: right;">考</p>
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ことばの力活用POINT</p> <p>結論先行で根拠を明確にし、筋道を立てて、内容のまとまりのある文章を書く。</p> </div>		<p>「関心・意欲・態度」 本時の学習状況について、客観的に評価しようとしている。 (自己評価カード)</p>
<p>6 書いた文章の交流</p> <p>○グループ内で書いた文章を読み合い、交流する。</p> <p>○友だちと自分の文章を比較し、自分の文章を修正する。</p>	<p>・支援を必要とする生徒には、モデル文を参考にさせ、必要な構文を示した上で、自分で考えながら文を作成させるようにする。</p>	<p>「表現の能力」 文のつながりや構成を考えた文章をかくことができる。(ワークシート)</p>
<p>7 自己評価と教師からの評価 ○交流して気付いたことを発表する。</p> <p>○教師からの評価も行う。</p> <p>8 本時のまとめ ○本時の目標に照らし合わせ、自己評価カードを記入する。</p> <p>○次時の確認をする。</p>	<p>・理由の適切さ、分かりやすさ、内容のまとまりや文章構成などを視点に友だちの文章を読むように指示する。</p> <p>・よかった点、改善すべき点を明確にして評価を行う。</p> <p>・具体的に記入するよう指示する。</p> <p>・次時につながる課題を投げかける。</p>	<p>次時は発表準備、グループ内発表を行う。相手に分かりやすく伝えるにはどうすればよいかを考えて発表させ、発表後、内容について質問するなどやりとりの機会を与える。</p> <p style="text-align: right;">表</p>